

病床機能の現状等についてのアンケート
結果概要等について

【内容等】	【頁】
(1) 平成 3 0 年度病床機能報告（ <u>県全体</u> における状況）	P 1 ～ 3
(2) アンケート結果概要（那賀 <u>医療圏</u> における状況）	P 4 ～ 7
・ 各医療機関の方向性等について： <u>病院分</u>	P 8
・ 同： <u>有床診療所分</u>	P 9
(3) 非稼働病床に関する調査結果概要	
・ 平成 3 0 年度病床機能報告より（※直近速報値※）	P 1 0
・ 過年度分調査の結果概要について	P 1 1
(4) アンケート自由意見の紹介について	P 1 2 ～ 1 3

【注意】

この資料に掲載している平成 30 年度病床機能報告に基づく数値（平成 30 年 7 月 1 日現在の病床数等）は、いずれも標記アンケートの実施時に把握したものです。

確定値ではありませんので、ご注意ください。

地域医療構想において定めた「2025年の必要病床数」と現状の病床数について

※速報値※

圏域名	医療機能	〔参考〕 2013年度の 必要病床数 (床)
和歌山	① 高度急性期	511
	② 急性期	1,554
	③ 回復期	1,629
	④ 慢性期	1,080
	小 計	4,774
那 賀	① 高度急性期	43
	② 急性期	224
	③ 回復期	207
	④ 慢性期	427
	小 計	901
橋 本	① 高度急性期	63
	② 急性期	245
	③ 回復期	292
	④ 慢性期	74
	小 計	674
有 田	① 高度急性期	24
	② 急性期	137
	③ 回復期	140
	④ 慢性期(特例)	257
	小 計	558
御 坊	① 高度急性期	41
	② 急性期	209
	③ 回復期	187
	④ 慢性期	255
	小 計	692
田 辺	① 高度急性期	151
	② 急性期	397
	③ 回復期	331
	④ 慢性期	384
	小 計	1,263
新 宮	① 高度急性期	48
	② 急性期	178
	③ 回復期	212
	④ 慢性期	236
	小 計	674
県 計	① 高度急性期	881
	② 急性期	2,944
	③ 回復期	2,998
	④ 慢性期	2,713
	小 計	9,536

【1】 2025年度の 必要病床数 (床)	3年経過 2015年7月1日現在 の病床数(床) ※病床機能報告	【2】 〔直近値〕 2018年7月1日現在 の病床数(床) ※病床機能報告	【1-2】
588	1,281	1,261	▲ 673
1,674	2,793	2,406	▲ 732
1,836	622	825	1,011
863	1,377	1,317	▲ 454
4,961	6,272	6,037	▲ 1,076
48	0	0	48
267	483	464	▲ 197
261	198	256	5
385	429	390	▲ 5
961	1,129	1,110	▲ 149
65	6	10	55
267	498	465	▲ 198
327	171	186	141
78	179	180	▲ 102
737	866	841	▲ 104
0	0	0	0
146	350	266	▲ 120
148	85	207	▲ 59
201	263	223	▲ 22
495	698	696	▲ 201
20	4	8	12
210	492	458	▲ 248
191	97	123	68
234	274	279	▲ 45
655	905	868	▲ 213
120	36	36	84
404	926	805	▲ 401
340	171	283	57
249	503	461	▲ 212
1,113	1,680	1,633	▲ 520
44	0	0	44
174	559	399	▲ 225
212	64	129	83
154	397	410	▲ 256
584	1,064	978	▲ 394
885	1,327	1,315	▲ 430
3,142	6,101	5,263	▲ 2,121
3,315	1,408	2,009	1,306
2,164	3,422	3,260	▲ 1,096
9,506	12,614	12,163	▲ 2,657

「病床機能報告」(2018年7月1日現在)による病床数
(左表の【2】を病院・診療所別としたもの)

区 分	医療機関数
和歌山	71
病院	40
有床診療所	31
那賀	14
病院	7
有床診療所	7
橋本	9
病院	4
有床診療所	5
有田	10
病院	5
有床診療所	5
御坊	5
病院	4
有床診療所	1
田辺	13
病院	8
有床診療所	5
新宮	12
病院	7
有床診療所	5
県計	134
病院	75
有床診療所	59

病床数 (単位: 床)					
高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計
1,261	2,406	825	1,317	228	6,037
1,261	2,196	769	1,212	143	5,581
	210	56	105	85	456
	464	256	390		1,110
	419	199	371		989
	45	57	19		121
10	465	186	180		841
10	447	184	123		764
	18	2	57		77
	266	207	223		696
	216	207	204		627
	50		19		69
8	458	123	279		868
8	458	123	261		850
			18		18
36	805	283	461	48	1,633
36	793	264	423	40	1,556
	12	19	38	8	77
	399	129	410	40	978
	370	110	410	2	892
	29	19		38	86
1,315	5,263	2,009	3,260	316	12,163
1,315	4,899	1,856	3,004	185	11,259
	364	153	256	131	904

【2】各「小計」においては、①～④の機能に分類されていない「分類なし」病床数を含めているため、単純な①～④合計値とは一致しない。

前年度報告との比較

※※ 速報値 ※※

病床機能報告による病床数について（H29 → H30【速報値】）

平成30年度報告対象医療機関

病院75（前年度比±0）

有床診療所59（前年度比▲3）

1 病院

二次医療圏	平成29年度病床機能報告（平成29年7月1日現在）（A）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	5,598	1,261	2,275	639	1,294	129
那賀	989		477	141	371	
橋本	764	10	449	177	128	
有田	627		216	207	204	
御坊	851	8	489	93	261	
田辺	1,557	36	912	122	487	
新宮	938		444	95	397	2
計	11,324	1,315	5,262	1,474	3,142	131

二次医療圏	平成30年度病床機能報告（平成30年7月1日現在）（B）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	5,581	1,261	2,196	769	1,212	143
那賀	989		419	199	371	
橋本	764	10	447	184	123	
有田	627		216	207	204	
御坊	850	8	458	123	261	
田辺	1,556	36	793	264	423	40
新宮	892		370	110	410	2
計	11,259	1,315	4,899	1,856	3,004	185

二次医療圏	H29→H30の増減（B）－（A）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	▲ 17		▲ 79	130	▲ 82	14
那賀			▲ 58	58		
橋本			▲ 2	7	▲ 5	
有田						
御坊	▲ 1		▲ 31	30		
田辺	▲ 1		▲ 119	142	▲ 64	40
新宮	▲ 46		▲ 74	15	13	
計	▲ 65		▲ 363	382	▲ 138	54

2 有床診療所

二次医療圏	平成29年度病床機能報告（平成29年7月1日現在）（A）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	501		236	56	105	104
那賀	121		45	38	38	
橋本	77		18	2	57	
有田	69		50		19	
御坊	18		18			
田辺	83		12	19	38	14
新宮	86		48	19		19
計	955		427	134	257	137

二次医療圏	平成30年度病床機能報告（平成30年7月1日現在）（B）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	456		210	56	105	85
那賀	121		45	57	19	
橋本	77		18	2	57	
有田	69		50		19	
御坊	18				18	
田辺	77		12	19	38	8
新宮	86		29	19		38
計	904		364	153	256	131

二次医療圏	H29→H30の増減（B）－（A）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	▲ 45		▲ 26			▲ 19
那賀				19	▲ 19	
橋本						
有田						
御坊			▲ 18		18	
田辺	▲ 6					▲ 6
新宮			▲ 19			19
計	▲ 51		▲ 63	19	▲ 1	▲ 6

3 病院＋有床診療所

※下段の赤字は2025（H37）年の必要病床数

二次医療圏	平成29年度病床機能報告（平成29年7月1日現在）（A）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	6,099	1,261	2,511	695	1,399	233
	4,961	588	1,674	1,836	863	
那賀	1,110		522	179	409	
	961	48	267	261	385	
橋本	841	10	467	179	185	
	737	65	267	327	78	
有田	696		266	207	223	
	495		146	148	201	
御坊	869	8	507	93	261	
	655	20	210	191	234	
田辺	1,640	36	924	141	525	14
	1,113	120	404	340	249	
新宮	1,024		492	114	397	21
	584	44	174	212	154	
計	12,279	1,315	5,689	1,608	3,399	268
	9,506	885	3,142	3,315	2,164	

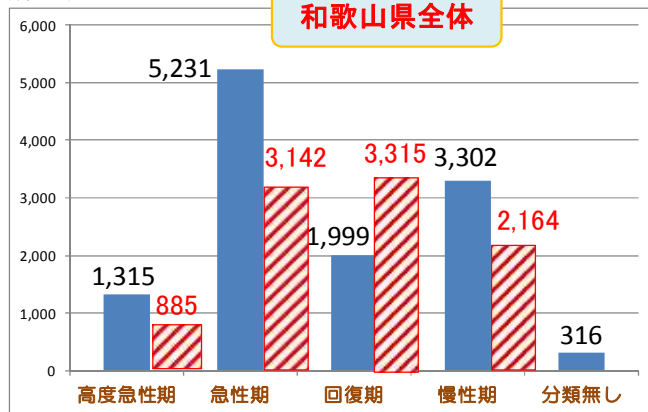
二次医療圏	平成30年度病床機能報告（平成30年7月1日現在）（B）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	6,037	1,261	2,406	825	1,317	228
	4,961	588	1,674	1,836	863	
那賀	1,110		464	256	390	
	961	48	267	261	385	
橋本	841	10	465	186	180	
	737	65	267	327	78	
有田	696		266	207	223	
	495		146	148	201	
御坊	868	8	458	123	279	
	655	20	210	191	234	
田辺	1,633	36	805	283	461	48
	1,113	120	404	340	249	
新宮	978		399	129	410	40
	584	44	174	212	154	
計	12,163	1,315	5,263	2,009	3,260	316
	9,506	885	3,142	3,315	2,164	

二次医療圏	H29→H30の増減（B）－（A）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	▲ 62		▲ 105	130	▲ 82	▲ 5
那賀			▲ 58	77	▲ 19	
橋本			▲ 2	7	▲ 5	
有田						
御坊	▲ 1		▲ 49	30	18	
田辺	▲ 7		▲ 119	142	▲ 64	34
新宮	▲ 46		▲ 93	15	13	19
計	▲ 116		▲ 426	401	▲ 139	48

「2025年の必要病床数」と現状の病床数(棒グラフによる比較)

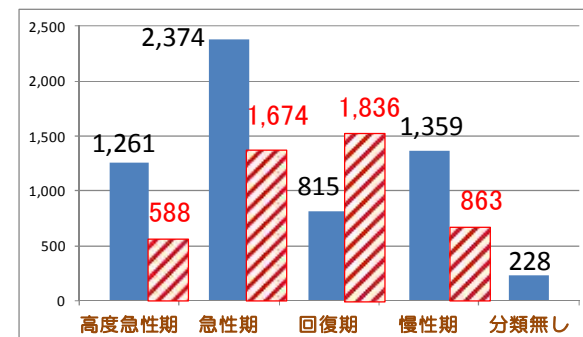
(単位: 床)

和歌山県全体



(単位: 床)

和歌山 構想区域



棒グラフ凡例



2025年の必要病床数



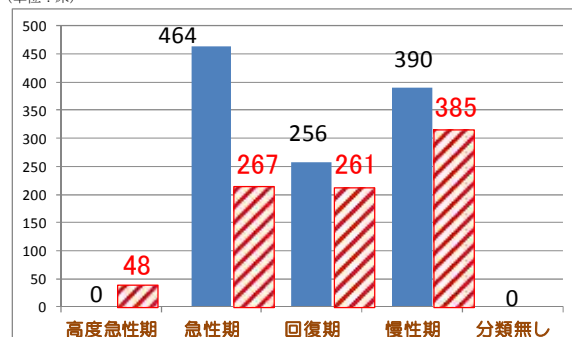
現状 (平成30年) の病床数

※※ 速報値 ※※

(※) 現状の病床数は、病床機能報告
(平成30年7月1日現在) より

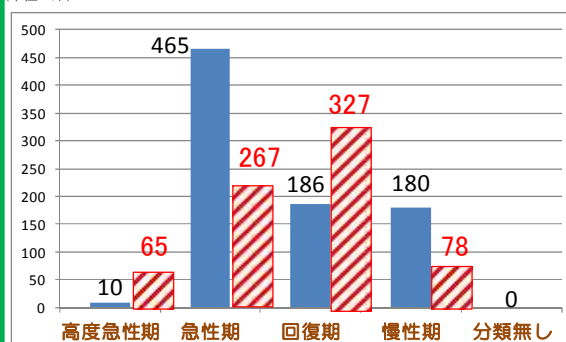
那賀 構想区域

(単位: 床)



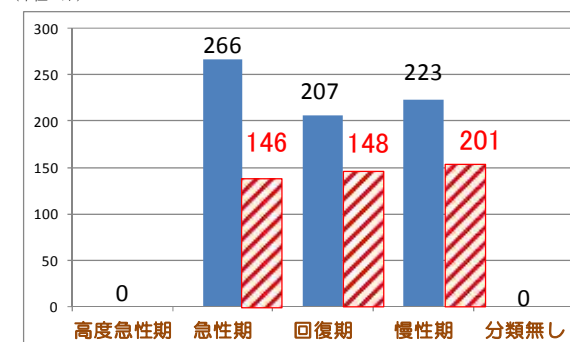
橋本 構想区域

(単位: 床)



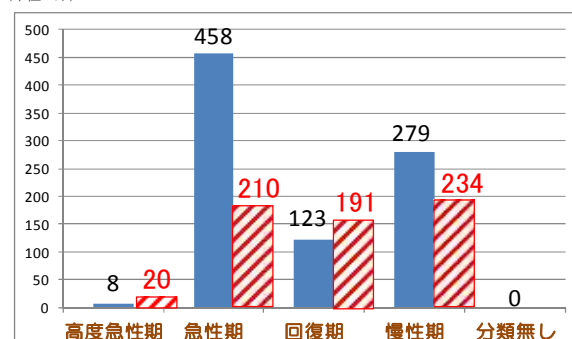
有田 構想区域

(単位: 床)



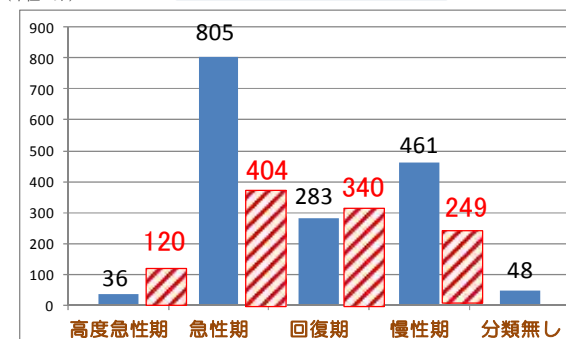
御坊 構想区域

(単位: 床)



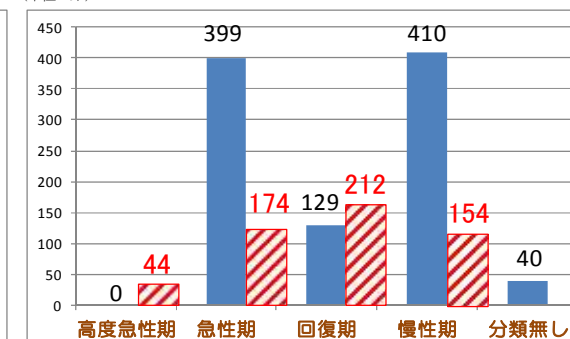
田辺 構想区域

(単位: 床)



新宮 構想区域

(単位: 床)



1. 那賀保健医療圏構想区域における病床の現状

「病床機能の現状及び今後のあり方に関するアンケート」

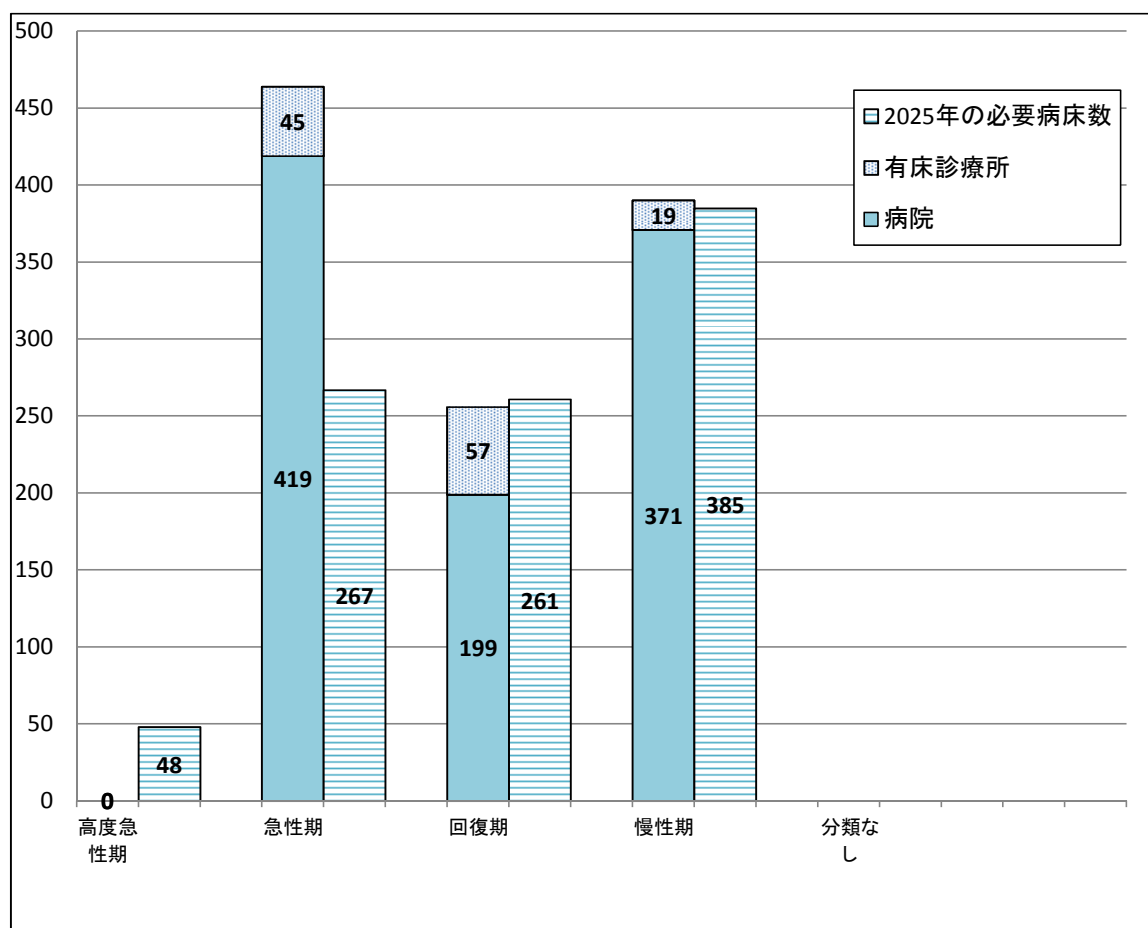
〈実施期間〉 平成30年10月～12月

〈対 象〉 病 院 … 7施設 、有床診療所…7施設

※ 平成30年度病床機能報告の「報告様式1」を同時提出

■ 病床の現状(平成30年7月1日現在)

- ・ 許可病床数 …………… 1, 110床 （病院 989床、有床診療所 121床）
- ・ 前年度(確定値)との比較 … 増減なし



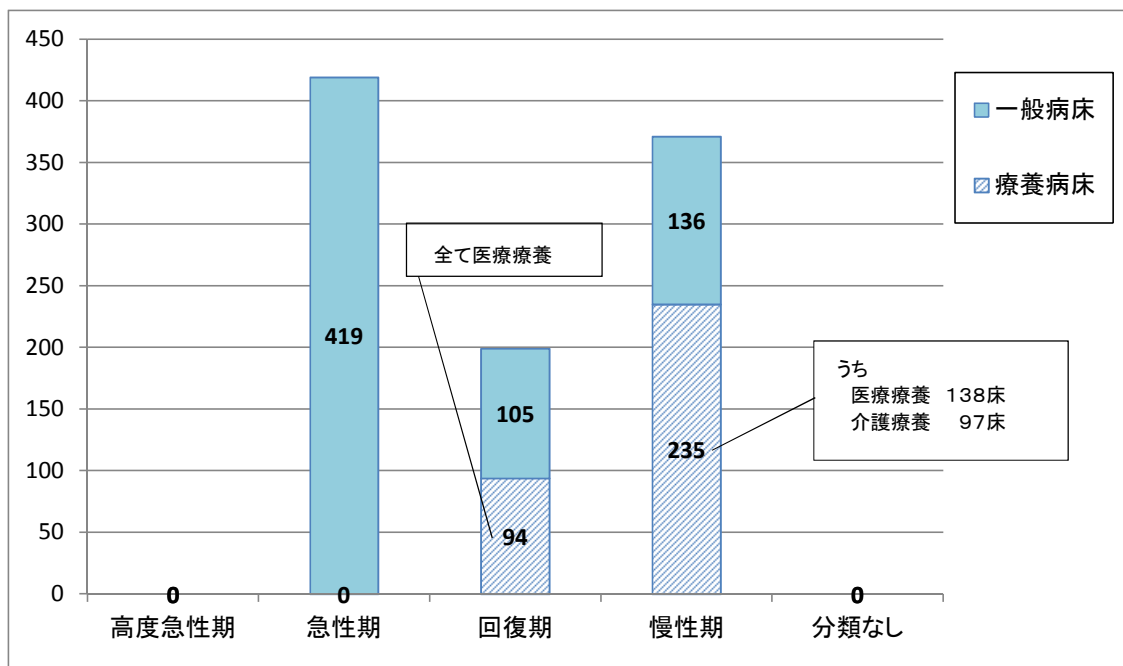
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計
病院	0	419	199	371		989
有床診療所	0	45	57	19		121
合計	0	464	256	390	0	1110
必要病床数	48	267	261	385		961

2. 病院の機能別病床数等

■ 病院の現状(平成30年7月1日現在)

- ・ 病 院 数 ……………7施設
- ・ 許可病床数……………989床 (前年度(確定値)との比較 … 増減なし)

■ 機能別の病床数 (平成30年7月1日現在)



	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計
一般病床	0	419	105	136	0	660
療養病床	0	0	94	235	0	329
合計	0	419	199	371	0	989

■ 機能別の病床稼働率 (平成29年7月1日～平成29年6月30日)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計
病床稼働率	—	78.0%	92.8%	93.0%	—	86.6%

3. 病院の機能別病床数等

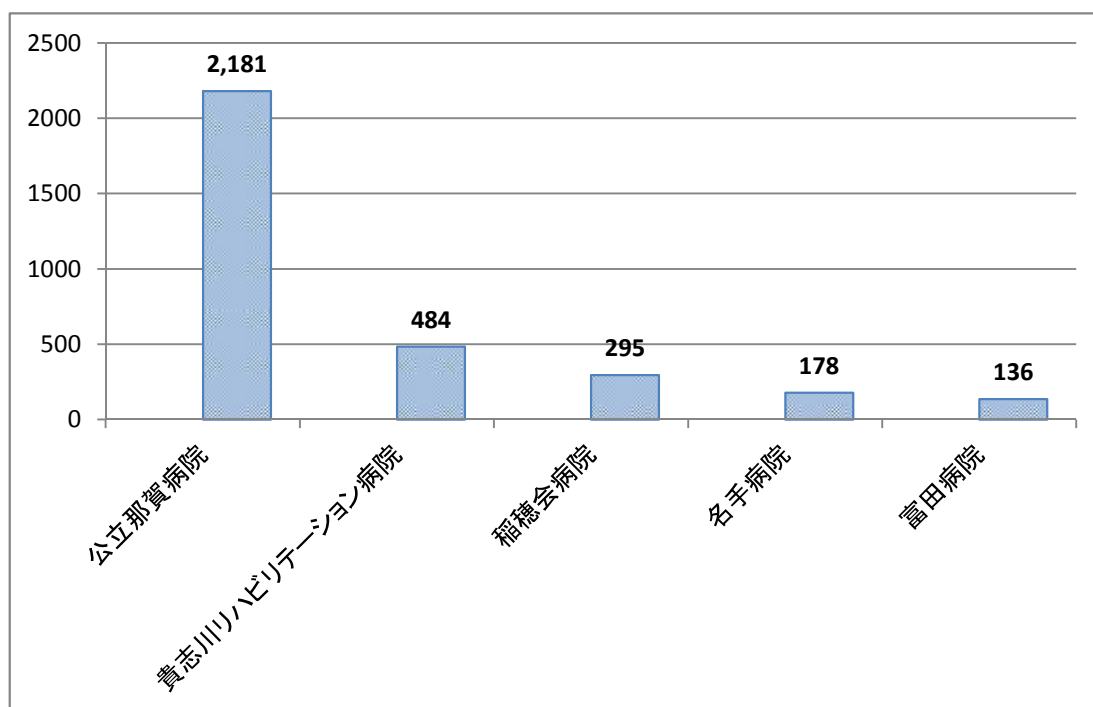
■ 稼働状況(平成30年7月1日現在)

許可病床数 989床

→ うち非稼働病床 51床

■ 救急対応の状況 (平成29年7月1日～平成30年6月30日)

構想区域内の救急告示病院(5施設)における1年間の救急搬送(救急車受入)件数は、下記に示すとおり。



■ 各病院の今後の目指す方向性等について

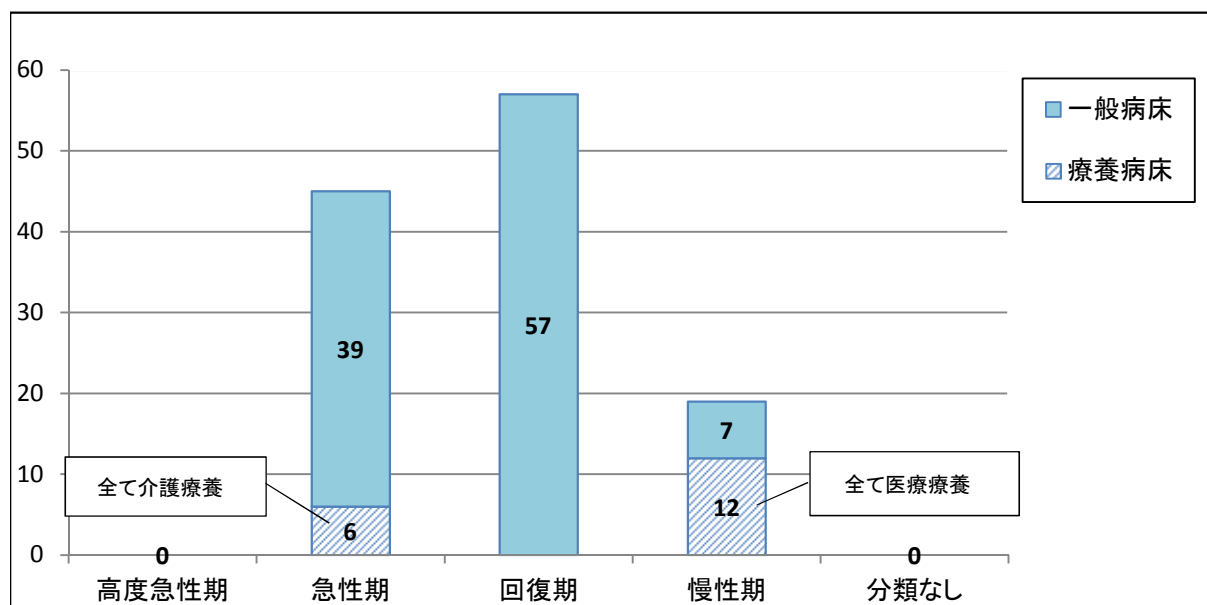
各病院の目指す方向性(意向)や、2025年における許可病床数(予定)については、P8のとおり。

4. 有床診療所の機能別病床数・稼働状況など

■ 有床診療所の現状（平成30年7月1日現在）

- ・ 有床診療所数 …… 7施設
- ・ 許可病床数 …… 121床 （前年度（確定値）との比較 … 増減なし）

■ 機能別の病床数（平成30年7月1日現在）



	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計
一般病床	0	39	57	7	0	103
療養病床	0	6	0	12	0	18
合計	0	45	57	19	0	121

■ 有床診療所の病床稼働率（平成29年7月1日～平成29年6月30日）

	全医療機能計
病床稼働率	73.5%

■ 病床稼働率の状況（平成29年7月1日～平成29年6月30日）

病床稼働率	40%以下	41%～60%	61%～80%	81%～100%	100%超	計
有床診療所数	0	2	1	3	1	7

（稼働率の計算式＝平成29年7月1日～平成30年6月30日の1年間の在院患者数／許可病床数×365）

各医療機関が将来担っていく方向性について【病院分】 (H30. 11月県医務課実施 アンケート調査による)

〔A〕高度急性期・急性期（救急） 〔B〕地域密着型協力病院 〔C〕（主として）療養病床 〔D〕（主として）介護医療院
〔E〕特殊な機能（産科・透析等） 〔F〕その他ケアミックス型

医療機関名	平成30年7月1日時点の病床数等										
	病床数小計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟 →再開	休棟 →廃止	救急 告示	地域 密着	救急車 受入件数	医師数 計(人)
公立那賀病院	300		300					○		2,181	54.7
稲穂会病院	66				66			○		295	4.2
名手病院	104			104				○	○	178	12.3
貴志川リハビリテーション病院	168		60	48	60			○	○	484	18.0
つくし医療・福祉センター	136				136			○		0	27.0
富田病院	156			47	109			○	○	136	20.0
殿田胃腸肛門病院	59		59							32	4.1
那賀圏域の病院 小計	989	0	419	199	371	0	0	6	3	3,306	140.3



2025年の許可病床数（予定）										
病床数小計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	廃止	介護医 療院等			
300		300								
66				66						
104			104							
168		60	48	60						
136				136						
156			47	109						
59			59							
989	0	360	258	371	0	0	0			

目指す方向性（病院意向）						医療機関名
A	B	C	D	E	F	
○						公立那賀病院
	○					稲穂会病院
	○					名手病院
	○			○		貴志川リハビリテーション病院
			○			つくし医療・福祉センター
	○					富田病院
	○					殿田胃腸肛門病院
1	4	1	0	1	1	那賀圏域の病院 小計

県計（病院）	11,259	1,315	4,899	1,856	3,004	185	0			47,511	1,854
--------	--------	-------	-------	-------	-------	-----	---	--	--	--------	-------

10,856	1,337	4,848	2,179	2,450	42	165	238			
--------	-------	-------	-------	-------	----	-----	-----	--	--	--

18	31	11	4	8	9	県計（病院）
----	----	----	---	---	---	--------

県計（病院＋有床診療所）	12,161	1,315	5,261	2,009	3,260	287	29	0	0	47,511	1,854
--------------	--------	-------	-------	-------	-------	-----	----	---	---	--------	-------

11,688	1,337	5,182	2,349	2,687	133	235	238			
--------	-------	-------	-------	-------	-----	-----	-----	--	--	--

県計（病院＋有床診療所）											
--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【データ出典】平成30年度病床機能報告による
・病床数は、平成30年7月1日時点の病床数（医療機能別）
・救急搬送件数は、1年間（平成29年7月1日～平成30年6月30日）における救急車受入件数

各医療機関が将来担っていく方向性について【有床診療所分】 (H30.11月県医務課実施 アンケート調査による)

- 〔a〕 病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能 〔b〕 専門医療を担う機能（産科、透析 など）
〔c〕 救急に対応する機能 〔d〕 在宅医療の拠点としての機能 〔e〕 人生最終段階における医療（終末期医療）を担う機能 〔f〕 いずれの機能にも該当しない

医療機関名	平成30年度 病床機能報告による病床数等						
	病床数小計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟 →再開	休棟 →廃止
奥クリニック	19		19				
長雄整形外科	19			19			
勝田胃腸内科外科医院	19				19		
北山産婦人科クリニック	7		7				
久保外科	19		19				
紀の川クリニック	19			19			
やよいメディカルクリニック	19			19			
那賀圏域の有床診療 小計	121	0	45	57	19		0



2025年の許可病床数（予定）								
病床数小計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟		廃止	介護医療院等
19		19						
19			19					
19				19				
7		7						
19		19						
19			19					
19			19					
121	0	45	57	19	0		0	0

方向性（病床の担う役割）							
a	b	c	d	e	f	○の数	
○		○	○	○		4	
○	○					2	
○	○	○	○	○		5	
	○					1	
○	○	○				3	
○	○	○				3	
○	○	○	○	○		5	
6	6	5	3	3	0	23	

方向性（モデル）			医療機関名
ア	イ	ウ	
○			奥クリニック
	○		長雄整形外科
○			勝田胃腸内科外科医院
	○		北山産婦人科クリニック
		○	久保外科
		○	紀の川クリニック
		○	やよいメディカルクリニック
2	2	3	那賀圏域の有床診療 小計

県計（有床診療所）	902	0	362	153	256	102	29
-----------	-----	---	-----	-----	-----	-----	----

832	0	334	170	237	91	70	0
-----	---	-----	-----	-----	----	----	---

34	35	27	21	24	4	145
----	----	----	----	----	---	-----

17	20	8	県計（有床診療所）
----	----	---	-----------

県計（病院＋有床診療所）	12,161	1,315	5,261	2,009	3,260	287	29
--------------	--------	-------	-------	-------	-------	-----	----

11,688	1,337	5,182	2,349	2,687	133	235	238
--------	-------	-------	-------	-------	-----	-----	-----

県計（病院＋有床診療所）

【データ出典】平成30年度病床機能報告による
・病床数は、平成30年7月1日時点の病床数（医療機能別）
・救急搬送件数は、1年間（平成29年7月1日～平成30年6月30日）における救急車受入件数

目指す方向性（有床診療所モデル）

- 〔ア〕 地域包括ケアモデル（医療・介護併用モデル） 〔イ〕 専門医療提供モデル
〔ウ〕 上記〔ア〕〔イ〕両方に該当

非稼働病床を有する医療機関 (出典: H30年度病床機能報告)

※ 2 / 25 時点 ※
※※ 速報値 ※※

※ 該当医療機関のみ、下表中に列挙しています ※

(単位: 床)

圏域名	病院 + 有床診		病 院			有床診療所		
	病床数	うち非稼働		病床数	うち非稼働		病床数	うち非稼働
県計	12,163	707		11,259	520		904	187
和歌山圏域	6,037	434	和歌山圏域(病院)小計	5,581	317	和歌山圏域(有床診)小計	456	117
和歌山市内	5,479	423	和歌山市内(病院)小計	5,084	310	和歌山市内(有床診)小計	395	113
			和歌山県立医科大学附属病院	760	1	眼科松本クリニック	5	5
			日本赤十字社和歌山医療センター	865	160	綿貫第二クリニック	19	3
			和歌山労災病院	303	1	青木整形外科	19	19
			上山病院	62	3	医療法人裕紫会 オリオン	19	17
			嶋病院	57	6	かわばた産婦人科	8	8
			琴の浦リハビリテーションセンター付属病院	108	4	タナカ眼科	4	4
			西和歌山病院	120	12	吹上クリニック	4	4
			浜病院	115	10	瀧口レディースクリニック	12	12
			誠佑記念病院	112	31	佐々木産婦人科医院	14	14
			堀口記念病院	150	16	前田外科	19	19
			古梅記念病院	110	28	岩橋産科婦人科	11	2
			今村病院	52	2	塩崎医院	4	4
			中谷病院	195	1	稲田クリニック	19	2
			和歌浦中央病院	165	16			
			伏虎リハビリテーション病院	89	14			
			河西田村病院	108	2			
			瀬藤病院	80	3			
海南市・紀美野町内分	558	11	海南市・紀美野町内(病院)小計	497	7	海南市・紀美野町内(有床診)小計	61	4
			国保野上厚生総合病院	154	5	西本内科外科医院	19	4
			谷口病院	43	2			
那賀圏域	1,110	58	那賀圏域(病院)小計	989	51	那賀圏域(有床診)小計	121	7
			公立那賀病院	300	8	長雄整形外科	19	3
			殿田胃腸肛門病院	59	35	やよいメディカルクリニック	19	4
			富田病院	156	8			
橋本圏域	841	31	橋本圏域(病院)小計	764	29	橋本圏域(有床診)小計	77	2
			和歌山県立医科大学附属病院紀北分院	100	24	高野山総合診療所	2	2
			山本病院	84	3			
			紀和病院	280	2			
有田圏域	696	31	有田圏域(病院)小計	627	5	有田圏域(有床診)小計	69	26
			有田市立病院	153	2	橋本胃腸肛門外科	19	14
			桜ヶ丘病院	99	1	森下整形外科	19	10
			西岡病院	120	2	おおち眼科	2	2
御坊圏域	868	2	御坊圏域(病院)小計	850	2	御坊圏域(有床診)小計	18	0
			北裏病院	100	2	該当医療機関無し		
田辺圏域	1,633	101	田辺圏域(病院)小計	1,556	93	田辺圏域(有床診)小計	77	8
			紀南病院	352	10	辻内科医院	8	8
			田辺中央病院	139	33			
			玉置病院	156	15			
			白浜小南病院	199	9			
			国保すさみ病院	72	26			
新宮圏域	978	50	新宮圏域(病院)小計	892	23	新宮圏域(有床診)小計	86	27
			那智勝浦町立温泉病院	120	1	要外科内科医院	19	3
			日進会病院	82	2	玉置整形外科医院	19	5
			くしもと町立病院	130	7	坂野医院	19	19
			串本有田病院	174	11			
			潮岬病院	2	2			

非稼働病床を有する医療機関について

出典・H29年度病床機能報告
・病床の稼働状況(H29年度)に関する調査

前回(昨秋)調整会議において非稼働病床の定義について医療機関毎に解釈が異なるのではないかと指摘があり、以降の病床機能報告に正確を期するため、下記の県福祉保健部技監通知発出により改めて同定義の周知を図ったもの。
また、平成29年度病床機能報告において精査後の非稼働病床数の報告を求めた結果、下表のとおりとなった。

(出典：H29年度病床機能報告)

(下記の通知による見直し後)

(単位：床)

圏域名	病院＋有床診療所		病院		有床診療所	
	病床数	うち非稼働	病床数	うち非稼働	病床数	うち非稼働
県計	12,279	706	11,324	499	955	207
和歌山圏域	6,099	391	5,598	253	501	138
和歌山市内	5,524	351	5,084	217	440	134
海南市・紀美野町内分	575	40	514	36	61	4
那賀圏域	1,110	49	989	45	121	4
橋本圏域	841	23	764	21	77	2
有田圏域	696	24	627	0	69	24
御坊圏域	869	5	851	5	18	0
田辺圏域	1,640	138	1,557	124	83	14
新宮圏域	1,024	76	938	51	86	25

(単位：床)

圏域名	病院＋有床診療所		病院		有床診療所	
	病床数	うち非稼働	病床数	うち非稼働	病床数	うち非稼働
県計	12,279	821	11,324	618	955	203
和歌山圏域	6,099	481	5,598	346	501	135
和歌山市内	5,524	441	5,084	310	440	131
海南市・紀美野町内分	575	40	514	36	61	4
那賀圏域	1,110	56	989	49	121	7
橋本圏域	841	30	764	28	77	2
有田圏域	696	37	627	11	69	26
御坊圏域	869	4	851	4	18	0
田辺圏域	1,640	132	1,557	124	83	8
新宮圏域	1,024	81	938	56	86	25

平成30年10月15日付け県福祉保健部技監通知

(参考)

本通知における「非稼働病床」に関する定義について

別添『非稼働病床に関する対応方針等について』中、「非稼働病床」とは、「病床機能報告」において各医療機関より報告される「過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床数」を算定する上での病床を意味しており、「過去に一度も使用しなかった特定の病床」を意味するものではありません。

また、県医務課（又は各所管保健所）より別途通知の『平成30年度病床機能報告における留意事項について』別紙においても記載していますが、その定義については、下記欄内を参照してください。

許可病床数から過去1年間に最も多く患者を収容した時点で使用した病床数を差し引いた病床数のことであり、次の方法により算出されるものです。

許可病床数 - 過去1年間に最も多く患者を収容した時点で使用した病床数
= 非稼働病床数(過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床数)

- (例) ① 許可病床 50床
② 1年間で最も在院患者が多かった時点 . . . 平成29年12月1日 14時
③ ②の時点で使用していた病床数 . . . 45床

⇒ 上記の例では、
50床 - 45床 = 5床 となります。

※ 当該病床数は、「調査基準日（平成30年7月1日）時点で入院患者を収容していなかった病床数」ではありませんので、ご注意ください。

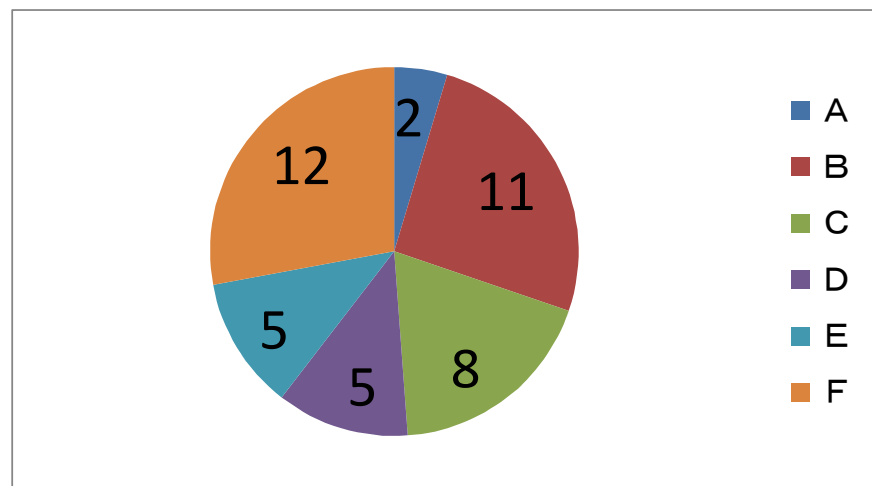
アンケート自由意見について（概要）

- 右表のとおり、40医療機関より
自由意見の提出があり、その概要
は下記のとおり。

圏域名	病院	有床診療所	小計
和歌山	17	4	21
那賀	2	3	5
橋本	2	1	3
有田	1		1
御坊	4		4
田辺	1	2	3
新宮	1	2	3
県計	28	12	40

- 自由意見をおおまかに分類すれば、下記A～Fのとおり。

- 【類型A】地域医療構想制度全般等に関する意見
 - 【類型B】構想実現に向けた議論の進め方に関する意見
 - 【類型C】非稼働病床（病棟）や病床削減等に関する意見
 - 【類型D】公的・民間各医療機関の機能のあり方等に関する意見
 - 【類型E】有床診療所が担う機能のあり方に関する意見
 - 【類型F】自院の目指す方向性に関する意見



- 各意見類型ごとの主な意見は、以下のとおり。

【類型A関係】

- ・患者やその家族がいつでもどこでも自由に選択できる地域医療構想の実現を。
- ・医療機関が互いに意地を張り合い、介護医療院等への転換もうまく進まずに多くの医療機関が閉鎖していくことにならないかを懸念。

【類型Ｂ関係】

- ・ 丁寧に関係者の意見を聞きながら、慎重に議論を進めていただきたい。
- ・ 病床配分に当たっての明確な基準を示してほしい。
- ・ 医療機関の手挙げではなく、第三者が判断する仕組み・基準を設けるべき。
- ・ 回復期等への転換を促すような施策や基準を設けるよう、期待する。
- ・ 委員数が多い和歌山医療圏では、コンパクトな部会を開催するなど工夫しては。
- ・ 機能転換については、県の意向よりも各病院の自主性を尊重してほしい。
- ・ 個々の病院の実態や地理的要件、働き方改革などを総合的に勘案した上で、地域医療構想の議論を進めていきべき。
- ・ 行政が進めるということではなく、医療関係者の合意で構想を進めるべき。
- ・ 地域のニーズを的確に捉えた上で、議論を進めてほしい。

【類型Ｃ関係】

- ・ 理由のある非稼働病床もあり、その定義付けには疑問を感じる。
- ・ 県の非稼働病床調査により、病床削減の根拠とされることを懸念する。
- ・ 慢性期病床の減少によって、医療難民が生まれるのではないかと危惧する。
- ・ 民間医療機関に対して、病床削減を強いる必要は無いと考える。
- ・ 有床診療所にも非稼働病床が多くあり、まずはその整理を進めてはどうか。
- ・ 非稼働病床を有する施設の転換等を優先に進めるのが合理的ではないか。

【類型Ｄ関係】

- ・ 公的医療機関が果たすべき役割を、県がしっかりと示してほしい。
- ・ ５疾病５事業をはじめ不採算部門でも公的医療機関がしっかりと対応すべき。
- ・ 公的病院が地域包括ケアや回復期リハまで担うことに懸念。
- ・ 各地域で公的・民間医療機関がそれぞれに医療を提供。経営が成り立ってこそその病院経営でもあり、機能分化とのバランスの取れた議論をお願いする。

【類型Ｅ関係】

- ・ 有床診療所は多様な機能を担っていることを改めて評価すべき。
- ・ 医療費が安価という観点からも有床診療所への理解を。